

年中長児

＊

子「ママ、ママのおなかプヨプヨしててきもちいいね」

母「Sのおなかもおおきいよ」

子「でも、ママのおなかはプヨプヨ。プヨンプヨン」

＊おしりふき用のコットンをちぎって投げながら

「はるのかぜみたい」

＊

子「あのおとはなに？」

父「あれは雷っていうんだよ」

子「かみなり？こわい。どこからおとがするの？」

父「あの黒い雲からだよ」

子「くろいくも？」

「あのくもはかみなり？」

それからはどこへ行っても

子「あのくもはかみなり？」

空ばかり気にした夏になった。

＊

家族で木下大サーカスを見に行っている時のこと。数々の人間離れをしたパフォーマンズを見ながらつぶやいた言葉です。

子「Wちゃん、あれならできるとおもう」

母「え！？できるかな！？」

子「れんしゅうしたらだれでもできるとおもう」

母「すごいなー。お母さんちょっとできなさそう…」

子「あれなら、おかあさんもできるんじゃない！？」

（※あれ→パフォーマンズをしている人の隣で美しく立って手をふっている
美女）

母「あー、あれはできるわ。練習したらできる」

＊

「きょうははれているから「チクチク」がよくみえるね」

（チクチク：松本市街より見える王ヶ頭）

*キャンプにて

(星を眺めながら)

「めいろするじょー」

(焚き火を眺めながら)

「あかとーオレンジとーきいろとー　なんであおとむらさきもあるのかなー？」

*レストランで歩き回る息子に対し

母「お客さんのじゃまになっちゃうからやめて」

子「ぼくもおきゃくさんだよ」

*

母「だれがお水こぼしたのー？」

子「まま、きつととうめいにんげんだよ。Iちゃんじゃないよ。とうめいだから
みえないね。どこにいったんだろうね」

*

子「パパ、じじばばもおなじおつきさまがみえているのかな？」

父「うん。どこにいても同じ月を見てるよ」

子「じゃあ、おやすみっておつきさまにいったらじじばばにもきこえるかな？」

父「聞こえるよ。月は大きな手紙だから」

子「じゃあこれからはおつきさまみたらおやすみってつたえよ」

*帰省中の電車の中で

父「もうすぐ着くぞー」

子「え！？どうぶつえんに！？」

*

「ぼくはね　くわがたみたいになんかやこうせいだから　ひるはねるけど　よるはげ
んきにあそぶんだ！！」

*かながえるSちゃん

工事中の道を車で通っている時

子「ねえ、このみちななめになってない？」

母「んー、そうかもね（工事中だからかな…）」

子「ちきゅうがまるいからじゃない！？」

*あめあがりののにおい

雨上がりの朝、ベランダでお外を見ながら、

子「キャンプじょうのにおいってこんなにおい」

母「どんなにおい？」

子「もりのにおい…クマがでそうなのにおい」

*

「おかあさんのおなかにピンクとあおのとけいがあるね ブラブラしてたの
しいからうでにまいてあそんでいたよ ！ちゃんがうまれたらおとうさんがい
てね てをふったからふりかえしたよ」

*ココイチにカレーを食べに行った時

「あ〜くちがかじになるー！！」

*

子「ママ、きょうはなんのゆめをみるの？Hはママとあそぶゆめをみるよ。そう
だ、ママもおなじゆめをみればゆめのなかであえるね。ぜったいHのゆめを
みてね。やくそくだよ。おやすみ、ママ。きょうもありがとう」

母「おやすみ。だいすきだよ」

子「Hちゃんも」

*風の強い日、チラシが飛ばされているのを見て

「かみがおどってるみたいだね」

*

母「つかれた、Sちゃん癒してー」

子「ぼく、じゅうでんね」

（ぎゅーっとだきしめて）

子「じゅうでんちゅう…しゅんしゅんしゅん」

母「はぁー、充電完了！ありがとう」

（姉がむこうから歩いてきて）

子「おねえちゃんもじゅうでんするか？」

姉「うん！」

子「100%ね」

* おむかえにいつでもなかなか出てこないH

母「おむかえきたよ。はやくかえろう」

（おともだちとでてきて）

子「わたしたち、ほしのせかいにかえります」

* むし歯

子「むしばってわるものなの？」

母「そうだね。だってむし歯をほおっておいたら痛くなっちゃうでしょ？」

子「なんで？はみがきしていないじぶんがわるいじゃん。むしばはわるものじゃないよ！！」

*

「あっ！はなびがおほしさまにぶつかったよ！あつくないのかな？」

*

子「ママ、あしハンバーグがついてる！」

母「あしにハンバーグ？きょうハンバーグたべてないのに？」

Hがころんでちがでたところがかさぶたになっていて、Hにはハンバーグにみえたようです。

*

子「なんであかちゃんはおやつたべないの」

母「まだちいさくて、歯がはえてないからたべれないんだよ」

子「そうなんだ、じゃあSがかわりにあかちゃんのぶんまでおやつたべるね。お
おきくなったらはんぶんこにするね」

母「ありがとう。おおきくなったらよろしくね」

*

子「つきやほしがずっとついてくるのはどうしてなの？」

母「お空のうんと遠くにいるからだよ」

子「かみさまもてんにいるから、ずっとついてくる？」

*

母「おかあさん、とってもねむたいんだ。ちょっとおひるねしていい？」

子「やだ！！ねないで！！」

母「薬局でもらったカゼ薬ね、飲むと眠たくなりますよ、って言われたから、そ

のせいかな」

兄 M「おきれなくなったらしんぱいだからねないでー！！」

子「ちょっとまって、Mくん」

「おかあさん、ねていいよ！」

母「えっ、どうしたの？」

子「おかあさん、しっかりやすんでねー、ってことでしょ」

「おくすりが、おかあさんやすんでねって。だからねむたいんだよ。いいよ、いいよ。おひるねしていいよ」

*花火

「おそらにドッカーン キレイなおはながさいたね でもすぐなくなっちゃうね さみしいね すぐきえちゃう またおそらにドッカーン なんかいもおそらにおはながさいてキレイだなー」

*かぶとむし

「かぶとむしおそらにいっちゃった あつかったのかな ごめんね おそらでほかのかぶとむしのともだちとなかよくしてね」

*玉ねぎ

子「はやくおとなになりたいな」

母「どうして？」

子「だってママ、いつもひとりでたまねぎとかきっててかわいそうだから。ぼくもいっしょにきいたらなかないでしょ？」

*カピバラのおもちゃ

子「あなたはだあれ？」

カピバラ「あなたはだあれ？」

子「わかった！！」

カピバラ「わかった！！」

子「カパピラさんね～」

カピバラ「カパピラさんね～」

子「まねするなあー！」

カピバラ「まねするなあー！」

母「どうしてもカピバラってむずかしいみたい」

＊

「にじいろのちょうちょはね どくのあるむしをたべてくれるんだよ ゆめのなかでいきてるの ユニコーンといっしょだよ」

＊

母「Ｙちゃんが生まれてくるときはね、Ｙちゃんの脈が落ちちゃったりして、ママはＹちゃん大丈夫かなって、痛いのはどうでもよくなって、すごく心配してたの。そしたらね、びっくりするくらい早く生まれてきてくれたんだよ」
子「うん、そうだよ。ちょっとたいへんだったけど、ママととととひとちゃんとバババにはやくあいたかったから、いそいででてきたの」

＊

夕方、車のかえりみち。道はもう、がらんとしていた。
子「どうしてはやくはしれないの？」
父「はやくはしたら、けいさつにつかまっちゃうよ。もしつかまったら、パパにあえなくなるんだよ」
子「じゃあね、けいさつのひとみんなつかまえる！おおきなトラックにのせて、はこんでいくんだ」
パパとママはびっくり。でも、パパがだいすきだからこそその発想です。

＊おおあめがふっているのを見て

「かみさまがおおなきしているんだね」

＊頭いいのね

洗たく室に二段のハンガーラックが置いてある。下段はハンガーが沢山かけてありハンガー置き場になっている。長女が下段のハンガーを取り服をかけ、足台にのって上段に服を干している。長女は足台にのって干すのが大変だとなげいている。

父「じゃあハンガー置き場を上にして下に干せばいいんじゃない？」

長女「いいね、そうする」

母（それがいいわ） 万事解決。

そこへＴ現る。

子「え、そもそもハンガーとれなくない？」

全員「…あ…頭いい…」

＊

「Cちゃんキラキラひかってるものがすき　ママのおはなはひかってるからママだいすき　パパもめがねがひかってるからパパもだいすき」

＊「は」のようせい

子「ママ「は」はやくぬけないかな」

母「なんで？」

子「「は」がぬけたらようせいがきてコインをくれるんだよ　はやくようせいにあいたいなあ」

＊

母「M、昨日の夜寝ぼけてママにいっぱい攻撃してきたよ」

子「ああ、たぶんきょうはねぼけないとおもうけどねぼけたらごめんねえ」

＊くも

子「きょうのはおいしそうだー。わたがしみたい。たべちゃおー！むしゃむしゃむしゃ。おいしーい！」

「きょうのはエンダードラゴンみたい（マインクラフトの生物）おおきくてつよそう！」

「きょうはきょうりゅうにならないかなあ」

母「何の恐竜？」

子「トリケラトプス！」

＊

子「ママのそのふく、Rちゃんがおおきくなったらちょうだい！」

母「いいよ、なんでもあげるよ」

子「ママがちいさくなったら、Rちゃんのふくなんでもあげるね！」

＊兄弟三人でオセロゲームをしながら一言

「でもさ、オセロってむずかしいよね。そのりゆうを…あじわいたい」

＊

「ぼくはねー、ママのおなかにいるときね、ママにはやくあいたいよーってなつて、ぷーんってでてきたんだよ！」

＊家族で買い物をするのに車に乗ろうとした時

子「ママはくるまにはのれないの！！」

母「何で？」

子「パパみたいにうんてんできないから」

母「まあ、そうだね笑」

子「ごめんね～」

母「うん！！でもパパの隣に座らせてね～！！」

子「いいよ～！！」

＊

姉とケンカをして、その原因が自分にあると分かっていたので、自分から、

子「ごめんね、ごめんね」

それでも姉は納得いかず、なかなか「いいよ」を言わなかったので、

子「いーね、もう。ごめんねしたからもういいいね。おしまい」

姉「あ！？よくないー！！」

謝ればいいってものじゃない…

＊

子「よつばのクローバーがずっとずっとのびたらいいな。そしたらくもまでいってたべられる」

母「どんなかなあ」

子「わたあめじゃない？」

母「飽きそうだなあ。Eちゃんは何がいい？」

子「チョコ！くものなかってだれがいるのかなあ？」

母「誰がいるのかなあ？」

子「神さまじゃない？」

＊兄と遊んでいて

「きょうはさいこうにおもしろいひだね」

＊

子「おなかのあかちゃん、いつうまれてくるの？」

母「さむくなったらだよ」

子「ふーん…さんにんめのこどもかあー。M おせわするのたいへんだあー」

*いやしといえは…

母や父が疲れている時

「ボクをみな。カワイイから」

「ボクのおしり、さわっていいよ」

「だっこしていいよ」

*窓の外の景色を見ながら

「きてー！！Mみたいなくもがあるー！（別の雲を指さして）こっちはママ、りょうほうチョキにしてるの。（また別の雲を指さしながら）パパはすごいおっきいの。12かいくらいまでとどくの」

*もち

「べんきょうをしてみたいっていうきもちはあるけど、もちをいっぱいたべたいっていうきもちもある」

*

母「ママはFとHとパパが1番のたからもの」

子「FもパパとママとHちゃんが1ばんのたからばこ！！」

*

子「Kちゃんアイスたべたいなあ」

母「さっき冷たいお茶飲んだからアイスも食べたら体が冷えちゃうよ」

子「んー。じゃあお風呂であったまってそれからアイスたべたらどう？それならだいじょうぶだとおもう！！」

*お泊まり保育へ行く時

母「ママもパパもいないけどひとりで寝られる？さびしくて泣かない？」

と母が聞くと

子「なかないよー！だってぼくはもう6さいだからね。6さいはおにいさんだから。それにひとりじゃないし、おともだちもみんないっしょだから！」

末っ子三男、いつの間にかお兄さんに進化したんだね。

*

「Sちゃん、ママのおなかのなかにいるとき、ママがたべたものおなかのなかにおちてきてたべたんだよ はやくあいたくてパンチしてでようとしてたんだよ」
Sはおなかのなかにはいたときはなしをよくします。いろんなストーリーがあ

っておもしろいです。

＊

子「きょうは、なにようび？」

母「金曜日だよ」

子「なんできんようびはあるのにぎんようびはないの？おりがみには、きんもぎんもあるのに。きらきらのようびがたくさんあればいいのになあ」

＊

母「セミの一生って短いよね 土の中に7年 地上に出てきて、たった7日間」

子「そうだね もしかしたら つちのなかにいるときがほんばんなのかもね」

「セミの本番は土の中」六歳の娘がつぶやいた言葉に、私は思わず立ち止まった。そう思うと、地上に出たセミは「死に向かう存在」なのだろうか。羽を震わせ、声を振り絞り、やがて力尽きていく姿には儚さが漂う。だが一方で、その姿は七年の時間をかけて準備を終え、最後の舞台に立っている存在でもある。鳴き声は、全てを出し切るための響きに聞こえてくる。

＊ねこになりたい

子「Eちゃんさあ ねこになりたいんだよ」

母「え、なんで？」

子「だってさ ねこってかわいいし けがふわふわしてるし それにずーっとのんびーりしてられるんだよ あーねこになりたいなあ」

＊おおきくなったら

子「おおきくなったらGちゃんちがうおうちにすむの？」

母「そうだよ。じぶんのすみたいおうちにすんでるかもね」

子「そしたらたんじょうびパーティーできないじゃん。さみしいな～。そしたらGちゃんがたんじょうびのひにみんなのうちにいってあげるよ」

＊

弟がパズルを運んでいる途中手をすべらせて落としてしまいバラバラに。ぐずる弟を見て

「にいにがはこんであげようか？にいにぶるどうざあ！！」

＊うまれる前のはなし

子「Tちゃんね、かみさまとおはなしして、ここにきなさいといわれてママのと

こにきたの」

母「ママのところにきてくれてありがとう」

子「かみさまにもおれいしてね」

年少児

＊お盆

子「ママ、しゃしんのひと（遺影）がおわかれしちゃったの？」

母「そうだよ」

子「ママさみしい？」

母「さみしいよ。今でも涙が出てくるくらい悲しいよ」

子「でもいえにMちゃんもいるしさみしくないよね」

母「そうだね。でもお盆になると家に帰ってきてくれるんだよ」

子「どうやってかえってくるの？」

母「体とはお別れしちゃったから、気持ちか帰ってきてくれるんだよ」

子「なんでからだはおわかれしちゃったの？なんできもちがかえってくるの？」

＊7月…幼稚園の帰り道

子「あっついよー！！あついのあついのとんでけー！！」

「ねえママ、あついてなーに？」

母「うーん、なんだろう、むずかしいなあ　じゃあ…あついものってなーんだ？」

子「おしる！」

＊おねえちゃんがかたもみをしてくれていて

母「こってますか？」

子「にこにこしてます　おこってないでーす！」

＊

子「S、かみなりすき」

母「そうなの？」

子「Rくん（弟）はこわかったみたい。だから「だいじょうぶだよ」ってでんき（キャンプ用のライト）つけてあげた。そうしたら、おうちがおそとの、バーベキューみたいになってたのしかった。だから、またかみなりきたらいいなー」

（停電したときのことを思い出したようです）

＊

母「お誕生日おめでとう　何歳になったの？」

子「4さい！！（少し考えて）3さいはどこにいったの？」

母「どこに行ったと思う？」

子「（公園で）ブランコしてるのかな？」

母「そうかもしれないね」

子「ずっと（私は）4さいなの？」

母「1年後には、5歳が来てくれるよ」

*まほうのつえ

（おみせやさんのなかで）

「あっ！！おばあちゃんがまほのつえもってる！！」

*

子「さんでー、まんでー、ちゅーずでー、うえんずでー、さーずでー、ふらいでー、さーたでー」

父「よく出来たね。じゃあ、サンデーは、何曜日？」

子「わかんない！」

*

（妹を妊娠中の母のおなかをさわりながら）

「あかちゃんここにすんでいるの？Tくんもむかしすんでいたよね。ちょっとしかすんでいなかったけどね！あかちゃんいつうまれる？うまれたら、きらきらのほうせきとすーぱーぼーるみせてあげるんだ！」

*

子「ママ、かみさまにあったことある？」

母「まだ会ったことないよー」

子「Sくんはゆめであったことあるよ」

母「どんな人だった？」

子「みどりのふくをきてうーんとおおきいのがとくちょう みんなのことまもってくれたんだよ」

母「すてきな人だね、ままも会ってみたい」

子「いいよ でもママのことはSくんがまもってあげるからね だからあわなくてだいじょうぶだよ」

*爪切りするとき、何かささやいている

子「おとうさんゆびさん、だいじょうぶ？いたいでしょ？ おかあさんゆびさんもだいじょうぶ？」

母「えっ、Mいたい？」

子「いたくないよ！でも、つめきってゆびさんはいたいよ！」

*夢シェア

さて寝ようと思って寝室に行く 先に寝ている子供たちの間にもぐりこむ

右にT（姉）、左にN 夜中にクリアな寝言が聞こえてくる

T「そそそ、これかけるとおいしいよね」

母（フフフ…笑）

すかさずN「おいし！」

母（えー夢シェアしてる！）

その場でケータイにメモをとる

*

「Nちゃんもサルになったらきにのぼれるかもー パパもママもばあばも！
みんなでブランコであそぼー！ ママサルがきからおちたらびょういんにつ
れてってあげるね！」

*T ごろく～その①～3才編

「いまのちゃんすに〇〇してよお」

してほしいことや買ってもらいたいものがある時に今がチャンスと相手をその
気にさせようとする表現。また、「いまがちゃんすだ！」と事前にいたずらす
ことを宣言して、ニヤニヤ笑いながらいたずらを実行する際にも活用形とし
て登場。

*

「ママのおかおになにかついてるよ Sちゃんがとってあげる ほくろってな
に だいじょうぶだよ、すぐとれるよ」

*いつ死ぬの

子「ママ、いつ死ぬの？」

母「歳をとった時か、事故があった時か、おもしろい病気があった時かな…」

子「じいちゃんはずっとこうしとっているよね。もうすぐ死ぬのかな？しんだら、
あつてみたいな。しんでるってどんなかんじだろう…でもしんでほしくない
な。さびしいから…」

*あかちゃんていいな

子「ママっていいにおいがする」

母「どんなにおい？」

子「おっばいのあまいにおい」

母「もうおっばいでないよ。Rちゃんおおきくなったもんね」

子「またおっばいのみたい な あかちゃんになりたいな」

母「ごめんね、もうでなくて」

子「バブバブ、さみしいバブ、ミルクちょうだいバブ」

＊夕方のお散歩にて

「きれいなくもだねえ、ハシゴでのぼりたいな。 かが（蚊）にさされた、かが
はいやだねえ。 いえにきをうえたいの、ひかげをつくりたい、すずしいから。
たねをかってきてくれる？ カニさんさがしにいこう？くらくら（暗くても）
でもだいじょうぶ。ライトもっていけばいいよ。 Sちゃん、かわいいねえ」

＊なりたいなあ

「ままになりたいなあ ままになったら Eちゃんにごはんをあげて Eちゃん
とあそんで Eちゃんをおふろにいれて Eちゃんとねんねしたいなあ」
今もたくさん弟のお世話をしてくれているよね ありがとう

＊ふしぎ＊

子「なんでくるまはまっすぐにすすむの？」

母「ハンドルを回してないからだよ」

子「まわすとどっちかにピューっといけちゃうの？」

母「せいかい！」

子「やったー！！」

「なんであかるいのに おつきさまがおそらにあるの？」

母「夜じゃなくても出てくるんだよ 本当はお星さまもいるよ」

子「ええー！おほしさまあっちにもこっちにもいるの？」

母「そうだよ。太陽が明るすぎて見えないだけなんだよ」

子「そうだったんだー。ふしぎー！」

＊いいにおい？

ままの服をくんくんかいで

子「ん～ままのにおいがする！」

母「え、どんなにおい？」

子「だいすきのにおい」

*家でKちゃんとお話している時

母「Kちゃんは何才？」

子「2さい！！」

母「3才だよ！！」

子「2さい！！」

母「Kちゃんお誕生日この前やったからもう3才になったんだよ！！」

子「2さい！！」笑いながら

母「2才がいいの？」

子「うん！！」

*

母「Rちゃん、ごはん食べられなくなるから、もうおやつやめておきな。お腹ポ
ンポコリンだよ」

子「ママ、このうでどうしたの？おおきくなってるよ、タブタブだよ。もう食べるのやめな」

一枚上手なRちゃんでした。

*哲学のS

子「もうすぐママのたんじょうび？」

母「冬になってからかな。Sの誕生日も冬になってからだよ」

子「たんじょうびになったらなにをするの？」

母「4歳になったSをお祝いするんだよ」

子「やだっ！SはSのママがいい！Sでいたい！」

そうだね。SはSだね。

*

母「(あせものあとが)きれいになってよかったね。わかいからすぐよくなるね」

子「じゃあ、ママはすぐよくなるの？」

母「そうだよ。ママはぜんぜんなおらないよ」

子「それはかなしいかなしいだね」

*

子「ぼうし！」

母「これはぼうしじゃないよ。きのこだよ」

子「ぼうし！」

母「これもぼうしじゃないよ。どんぐりだよ」

「あっそうか。両方とも、ぼうしかぶってるみたいだね。だから、ぼうしって
言ったんだね。」

*

「ままいっしにあそぼ～ Mちゃんがママ Sちゃん（妹）がおねえちゃん
ママがパパね じゃあごはんつくってくるからまっててね～」